

TTC DSL 専門委員会 第 9 回スペクトル管理 SWG

ファイル名: SMS-09-TOKAI-01

日 付: 2004 年 3 月 26 日

提 出 元: 株式会社 TOKAI¹

題 名: 第 3 版検討課題についての弊社の考え方

1. 第 8 回 SWG で整理された JJ100.01 第 3 版作成に向けての各検討課題について、弊社の考え方を述べる。

項番	課 題	弊社の考え方
ア)	(1) サービススペックに関する事項を課題とするか	サービススペックは事業者として重要な要素であるが、技術基準を取り扱う本 SWG で議論すべき事項ではない
	(2) 上り拡張方式のほかに、長延化方式、1.1MHz を超える周波数を使う方式、リモートターミナルでの DSL 方式を扱うか、検討する順番	第 3 版作成に向け、本 SWG で検討することに賛成する
	(3) 保護システム(クラス分け)の見直し	弊社として「クラス分けの見直し」の必要性はないと考える
	(4) 総量規制、収容制限のみに限定すべき等の考え方	導入の効果が不明確で、また運用も困難であるため反対する
イ)	(1) ISDN を適合性確認の干渉源から排除したい	ISDN は現在のフィールドに多数存在しており干渉源から外すことに合理性はないと考える
	(2) 距離 3.5Km (0.4mmPE 絶縁) で 4Mbps (下り)、400Kbps (上り)を確保したい	サービススペックは事業者として重要な要素であるが、技術基準を取り扱う本 SWG で議論すべき事項ではない
	(3) 緩和値(マージン)の設定	意見無し
	(4) 保護マスクの導入の是非	意見無し
	(5) 第 2 版通りの運用をすべき、見直しする合理的な理由がないとの意見がある。	意見無し
ウ)	(1) 線路長(損失)の定義および各式の整合性 B 章を検討するアドホック会合で議論	意見無し
	(2) 干渉源の数	意見無し
	(3) 2.7km超線路長での ISDN の扱い	意見無し
	(4) 長延化方式用モデルおよび適用距離	意見無し
	(5) 漏話の周波数特性が正しくない B 章を検討するアドホック会合で議論	意見無し
	(6) キャリアビット数[8、15、その他]	意見無し
	(7) 第 2 版通りのモデルで十分、モデル変更する合理的な理由がないとの意見がある。	意見無し

以上

¹ 連絡先: 高橋 強 TEL:054-254-3820 FAX:054-652-4482 email:t_takahashi@victokai.co.jp